ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西自然保護機構会誌

27巻2号（通算50号）



シンポジウム　田園の生き物を考える

2005年12月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

「京都市西山のエンコウソウ」

写真・文　近藤　和男

湿地や水辺等に生えるエンコウソウ（*Caltha palustris* var. *enkoso*）はキンポウゲ科リュウキンカ属の多年生草本植物です。茎がリュウキンカと違って直立せず，横に這い，30〜40㎝位の花茎を立ち上がらせます。茎頂に10㎝位の花柄を通常，２本つけ，その先に金属光沢のある花径３〜４㎝位の黄色い花を咲かせます。５枚の黄色の花弁に見えるのは実は萼片で，雄しべは多数，雌しべは５個あります。和名は猿猴草と言い，茎から長く伸びる花茎をテナガザルに見立てての名と言われています。京都府下においても当地域以外では少なく，近畿地方の保護上重要な植物です。

この写真は2001年５月に昔ながらの田園風景が広がる西山の小さな集落で撮ったものです。周りの田圃は田植も終わり，蛙の鳴き声が少々うるさい時期，湿り気のある休耕田や田の溝に一際良く目立つ黄色の花を咲かせて，小群落を作っていました。

この地域では春早くに，セリバオウレン，ノハナショウブ，ショウブ，オオバギボウシ（南限かと思われる），サツキ，イヌセンブリ，リンドウ，キセルアザミ，イトイヌノヒゲ（ホシクサ科）等々，貴重な植物が次々と花を咲かせます。

近年，農地整備の為，ショベルカー等の重機が入っていて，貴重な植物が絶滅しないかと心配しているところですが，反面，土を掘り起こす為，昔の絶滅した植物が環境の変化によって，珍しい植物でも出てこないかと期待するところでもあります。その一例として，桂川，宮前橋の河川敷がブルドーザにより攪乱されたことによって，レッドデータリストにもあがっているミズアオイが花を咲かせて話題になりました。

私はこの地域の自然の豊かさに驚いています。この自然がいつまでも残るよう祈っております。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONC はその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．基礎研究の実施
2．シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．現地見学会の開催
4．研究助成金の交付
5．会誌・連絡紙の発行
6．自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。